

2019



平成31年1月号
統合版第94号



(きらめき利用者)

綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑・T-JOB 苑たより



つわぶき会カレンダー 31年1月から

http://www.tuwabuki.jp/O1_02_tayori_sosei.html

＝ 年 頭 挨拶 ＝

社会福祉法人つわぶき会 理事長 岩橋 秀樹



明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、私どもにとって大変大きな出来事がありました。それは、皆様方と私の父岩橋正純が、子らの為にとともに歩んできた道「子を思う親の心を積み重ねて」の出版ができたことです。誕生の原点を再確認し、今私達は子らの為に何をなすべきか、どう行動すべきかの道しるべとなる貴重な財産ができました。行政の施設削減の方針を変えることにも繋がりました。これもひとえに皆様方のご支援とご協力の賜であり感謝申し上げます。4月には、3年に1度の障害福祉サービスの報酬改定が行われ、就労系サービスに大きな影響がでていることから政党や国会議員等に政策提言や要望を行ってまいりました。今後も障害者支援に大きな影響を及ぼす出来事に対しては、あらゆる機会を通じて意見を申し上げて参ります。また、7月の集中豪雨による敷地内冠水と9月の台風21号・24号による停電や施設屋根の破損などにより、多くの被害を受けました。特に電柱の倒壊によ

る停電があり、復旧にあらゆる手を尽くしましたが事業再開の目途をお示しすることができず、皆様方にご迷惑をおかけしたことを申し訳なく思っております。こうした経験のうえにこれまでの非常災害対策計画の見直しを行ってまいります。

私達は、利用者の皆様が安全に安心して施設を利用していただくために、施設の安全性の確保や支援技術の向上に日々取り組んでいかなければなりません。

特に近年、利用者の皆様方の高齢化やそれに伴い医療を必要とする方が多くなってきおり、日常の健康管理が重要になってまいりますので、機能訓練や個別健康診断を実施しております。更には、利用者の皆様方が楽しみと安らぎのある生活が実現できるよう、支援信条を実行しサービスの質の向上に取り組んでいるところであります。

新しい年を迎えて、気持ちも新たに、私たち職員はより一層、知恵を出し汗を流し、障害者本人、支える家族、職員が幸せになれる社会を目指し、強い団結力を持ち「子を思う親の心」を胸に精進してまいります。

なお、一層つわぶき会・哲人会を発展させ、子どもたちのより良い未来を目指します。

皆様方の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

綜成苑 苑長 山崎 貞一



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、よき新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は当法人並びに「綜成苑」の事業運営に格別のご支援とご協力を賜りましたこと深く感謝を申し上げます。

昨年2018年は夏の酷暑、集中豪雨など「災」という漢字が選ばれ、多くの災害が発生し、我々の施設も被害を受け、「災」害を忘れないと心に刻んだ年でもあり、最大限の備えを行わなければならないと感じた年でもありました。

いずれにいたしましても、新元号となる本年も多くの利用者様の命と生活に関わる障害者福祉に携わる我々「つわぶき会 綜成苑」の職員は、「和歌山市障害児者父母の会」の理念であります『子を思う親の気持ち』このことを念頭におき、健康と安全に配慮し、これから一層現実

味を帯びてくる高齢化対応等様々な支援・業務に職員一同、向上心を持って邁進してまいり所存でございます。今後とも皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様方にとりまして、本年が素晴らしい一年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

綜愛苑 苑長 小松 孝雄

明けましておめでとうございます。皆様方には、清々しし新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素から苑の運営にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え、職員一同心新たに利用者の方がうるおいと生きがいを感じられる生活を送れるように、「支援信条」「サービス提供の心得」に基づいて利用者主体の支援を行いつつ、地域への参加・連携に努めていきたいと考えています。さらに、利用者の安心・安全のために感染症対策、防災対策の充実に取り組んで参ります。

利用者の方とその家族の幸せのため、様々な意見や要望を頂きながら、保護者の方と職員がともに考え、運営する施設でありたいと思っておりますので、新しい年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私ごとになりますが、昨年4月に苑長に就任させていただいて以来あっと言う間の9カ月でした。何かと不行き届きで、御心配、御迷惑をおかけしたことも多かったことと思いますが、苑運営全般と合わせ、皆様方から賜りましたお力添えに心からお礼を申し上げます。

お陰を持ちまして、昨年は利用者やその出席率も増加し、また、懸案であった液体充填機を更新するなど苑の運営は順調に推移しています。

本年も職員一同、法人の理念である「子を思う親の気持ち」を忘れず、「何が利用者一人ひとりのためになるか」を考えながら全力で支援に取り組んでまいりますので、引き続き御理解と御支援をお願いいたします。

結びに、新しい元号となるこの年が皆様にとって幸い多い年となりますことを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

1月の行事予定

- ☆ 4日(金) 安全祈願初詣・年始会
- ☆ 7日(月) 仕事始め
- ☆ 11日(金) つわぶき会・哲人会 法人理事会・評議員会

過去2回にわたり、アートクラブ『ぱれっと』として カレンダー画展を開催し、沢山の反響を頂きました。今回、つわぶき会・哲人会『エイブルアート&ぱれっと』作品展として、つわぶき授産工場・小倉園・綜成苑・綜愛苑の利用者さんが創作活動で作った作品や、かかしコンテストで出品した作品をビッグ愛展示ホールで平成31年1月21日(月)から23日(水)まで展示いたします。是非、ご観覧ください。なお、エイブルアートとは知的・身体的障害者による芸術活動、およびその作品の事です。

- 開催場所：和歌山ビッグ愛 展示ホール
- 開催期間：平成31年1月21日～23日までの3日間
- 時間：10時から17時まで *最終日は15時まで
- 入場無料

前月の主なできごと

- ★ 2日(日) ゆうあいスポーツフェスタ
- ★ 3日(月) 振替休日(スポーツフェスタ)
- ★ 4日(火) 綜愛苑 和歌山市実地指導
- ★ 8日(土) 和歌山市障害福祉賞表彰式
- ★ 14日(金) 行政との年末反省会
- ★ 18日(火) 法人監事監査(成・愛・つつじが丘苑・グループホームつつじが丘)
- ★ 20日(木) 綜愛苑更生部 クリスマス会
- ★ 21日(金) 綜成苑更生部・授産部 きらめき クリスマス会
- ★ 22日(土) つつじが丘苑 きらめき クリスマス会
- ★ 26日(水) 綜成苑 綜愛苑 つつじが丘苑 年末大掃除



職員の新規採用がありましたのでお知らせします

栗栖 朋加 綜成苑更生部生活支援班生活支援員

12月 1日採用

支援員室だより

【 綜成苑 更生部 】



ゆうあいスポーツフェスタ

12月2日（日）、和歌山ビックホエールにて「ゆうあいスポーツフェスタ」が開催され、利用者の皆さんも元気よく大会に参加してくれています。



ナイスシュート！！
がんばれ～。



よ～い、ドン！！
それええ～、金メダルだ！。



大玉リレー
「表彰式」

「40m走」や「ヒットだ！ターゲット」、「フリースロー」と競技に参加し、頑張ってくれました。「大玉リレー」では、精一杯応援してくれました。

地域交流活動

12月14日（金）に紀美野町・野上、森のパン屋さん「ドーシエル」へと出掛けました。焼きたてのパンを幾つも選び、楽しいひとときを過ごしました。



早いもので平成30年も、もう終わり。皆で、無事年越しが出来そうです。本年もお世話になりました。来年も宜しくお願いします。

（綜成苑 更生部 主任生活支援員 亀田貴広・生活支援員 茨木昌子）

【 綜成苑 授産部 】

ゆうあいスポーツフェスタ



寒い中、ビック愛でスポーツ大会が開催されました。いろいろな種目に参加し、応援を行い、一日、有意義にスポーツ大会を満喫していました。普段とは違い運動をすることで、いつになく生き生きしているように見え、良い一日でした。



(綜成苑 授産部 主任生活支援員 出口真一)

【 綜愛苑 更生部 】



12月2日、ビッグホエールにてスポーツフェスタに参加してきました！

それぞれの競技に一生懸命に取り組み、順位に関係なく競技が終わった後にはとても良い笑顔を見せてくれました！



綜愛苑 更生部 生活支援員 吉野綾人)

【 きらめき 】

12月も半ばを過ぎ、本年はまだまだ暖かではありますが、冬らしい気候となってきました。生活介護きらめきでは、午前中は多目的広場への散歩を日課として続けつつ、創作活動では資材を集めるゲームを取り入れたり、ボール投げや楽器遊び、洗濯バサミを繋げる指先訓練等、暖かな室内で取り組む時間も増えてきました。

また、フロア個室横に利用者さん個人で利用できるロッカーを設置し、来苑時に一人一人の荷物を片付け易くなりました。名札を見て自ら自分の荷物を片付けたり、支援員の介助で片付けたりして使っています。



(綜愛苑 更生部 生活支援員 丸谷志保美)

【 つつじが丘苑 】

今年も早いもので、もう12月になり、クリスマス会に先立ち、12月13日につつじが丘苑敷地内で、避難訓練を行いました。苑長の話を職員や利用者さんは真剣に聞き、無事に避難訓練が終了しました。



(つつじが丘苑 生活支援員 鎌田浩・山隈加代)

【T-JOB】

□おもしろ環境まつり2018、和歌山市役所庁舎内自主製品販売に参加しました。

12月2日（日）にみその商店街アーケードにて「おもしろ環境まつり2018」が開催されました。

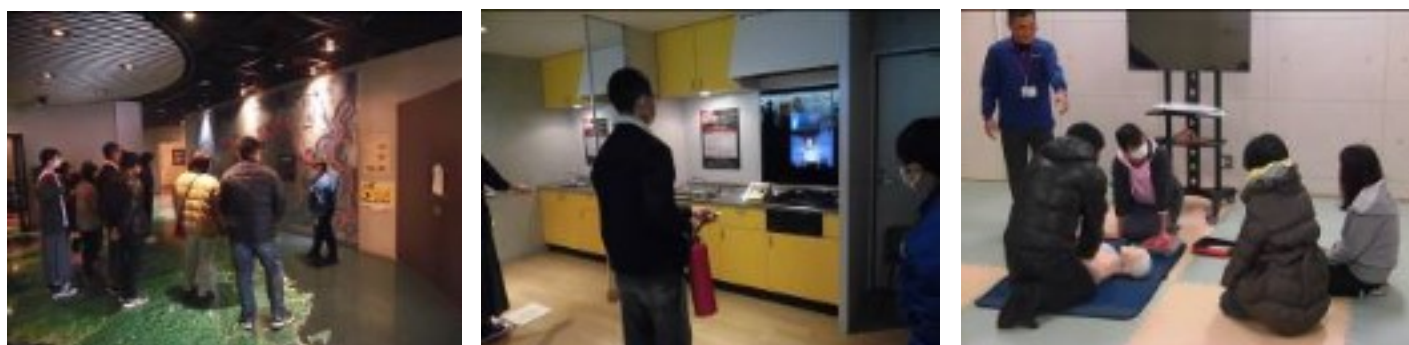
このイベントは子供も大人も一緒になって、見て・ふれて・感じてみる体験型のイベントで「今ある工夫」や「これからのアイデア」を共有して、環境について考えるイベントでした。T-JOBの利用者さんは、T-LABOにてうどんやフレンチトースト、わらびもち、ポップコーン、飲み物などを作って販売し、たくさんのお客さんと触れ合い、やりがいと達成感を感じることができました。

また12月7日（金）には和歌山市役所庁舎内で行われた自主製品の販売会に参加し、物を売ることの難しさと自分達が作った物が売れたときの喜びを利用者さん全員で共有することができました。



□和歌山市消防局防災学習センターに行ってきました。

12月21日（金）和歌山市消防局防災学習センターに行ってきました。今後発生する可能性のある地震や津波に対する地域の状況や避難について、火災時の対応や消火器を使ったシュミレーション、AEDの使い方などを学び、防災についての知識や意識を高めるいい機会となりました。



（T-JOB サービス管理責任者 石関 良充）